

月刊



平成23年2月1日発行 通巻181号  
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可  
 発行/社団法人 滋賀県建築士会  
 〒520-0801  
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F  
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : [shiga-sa@mx.bw.dream.jp](mailto:shiga-sa@mx.bw.dream.jp)

湖国が滋る・水と緑の街づくり

## CONTENTS

- ・平成23年 建築関係合同  
年賀会開催 ..... 2
- ・Doシリーズ No.57「自然環境  
を考慮したライト建築の見学と  
最新環境対応型W発電の研修」  
のご案内
- ・青年部会 米原市立大原小  
学校5年生総合学習  
事業報告 ..... 3
- ・青年部会 米原市立大原  
小学校5年生総合学習 事業  
報告 ..... 4
- ・長浜市からのお知らせ ..... 5
- ・アイ・湖国びとの愛情視線  
第2回 ..... 6
- ・支部だより ..... 7  
湖南支部・甲賀支部
- ・2月の暦
- ・「あきんど号ラリー参戦記」  
〈第2回〉 ..... 8
- ・滋賀の街道（西近江路）



滋賀の街道  
 (第17回)

## 西近江路(北国海道)「堅田」

古代より交通の要衝として発達した堅田。室町時代には朝廷から琵琶湖の漁業権と自由通行権を保証され、中世には堺に匹敵する自治都市を形成した。琵琶湖に君臨した堅田衆は湖族とも呼ばれた。この港をもつ集落は西近江路（北国海道）を東に少しはずれて位置し、近江八景のひとつ「堅田の落雁」に描かれた浮御堂（満月寺）など見どころある風景を残している。

細い路地を更に北に進むと古びた駒寄が風情を醸し出す旧家が現れる。中世堅田豪族の一つである居初家<sup>いそめ</sup>邸宅である。琵琶湖沿いに湖東の連山を借景にした枯山水の名園、天然図画亭は名高い。訪れたこの日は閉まっていたが内部の見学も可能。

# 平成23年 建築関係合同年賀会が開催されました

**開催日** 平成23年1月14日(金)

**参加団体**

(社)滋賀県建築士会

(社)滋賀県建築士事務所協会

(社)滋賀県建築設計家協会

滋賀県建築設計監理事業協同組合

(社)日本建築家協会近畿支部滋賀地域会(幹事)

**会場** 大津プリンスホテル

平成23年1月14日(金)に大津プリンスホテルにて「平成23年建築関係五団体合同年賀会」が、ご来賓を含め180余名の参加者で開催されました。



Doシリーズ  
No.57

女性部会主催

「自然環境を考慮したライト建築の見学と最新環境対応型W発電の研修」



大阪ガス株式会社協賛

ライト建築の見学と大阪ガスショールームにての体験研修を行います。フランク・ロイド・ライト氏設計のヨドコウ迎賓館(旧山邑邸)と愛弟子遠藤新氏設計の甲子園会館(旧甲子園ホテル)を見学します。見学後、大阪ガスショールーム「ディリパ千里」にてW発電(太陽光発電・エネファームについて)の研修をし、最新のガスコンロを使った調理体験を行います。ヨドコウ迎賓館では例年この時期に、旧山邑邸8代目当主山邑太左衛門の発注により、名匠3代目大木平蔵の手掛けた雛人形が特別展示されます。盛沢山の1日をご一緒に過ごしませんか。ご参加をお待ちしています。

追加募集  
します!!

- 日時：平成23年2月26日(土) 8:30集合 8:40出発
- 集合場所：大阪ガス草津ショールーム「ディリパ滋賀」 草津市西大路町5-34 TEL：077-566-0949
- 見学場所：ヨドコウ迎賓館：芦屋市山手町3-10  
甲子園会館：西宮市戸崎町1-13 武庫川学園内  
大阪ガスショールーム：吹田市千里万博公園1-1
- 募集定員：40名(定員になり次第締め切らせて頂きます)
- 参加費：会員 1,000円 一般 2,000円(昼食含)
- C P D：6単位
- タイムスケジュール



ヨドコウ迎賓館 外観

8:30	8:40	10:00~14:30	15:30~17:00	18:40
集合	出発	建物見学と昼食	ディリパ千里にて研修	ディリパ滋賀 到着後解散

- 申込方法：FAXで申込みの上、参加費の入金をもって申込受付とさせていただきます。
- 振込先：(社)滋賀県建築士会 郵便振替 口座記号番号 01010-9-21890  
 ※振込手数料は参加者負担でお願い致します。  
 ※参加費振込後のキャンセルによる返金はありません。  
 ※必ず個人名の記入をお願い致します。
- 申込締切：平成23年2月17日(休)



甲子園会館外観

## 女性部会 ライト建築の見学と大阪ガスショールーム体験研修 2.26(土)

会員/会員外	お名前	連絡先 TEL (当日連絡用)
会員・会員外		
会員・会員外		

お申し込みはFAXにて・・・(社)滋賀県建築士会 事務局 <FAX.077-523-1602> (お問い合わせは... TEL.077-522-1615)

## 青年部会

## 米原市立大原小学校5年生総合学習 事業報告

本年度も米原市立大原小学校5年生を対象に、総合学習事業を実施致しました。本年度は「人と生活と木の関係」をテーマに5回の授業を行い、子供たち自身が実際に山や森林組合、製材所などに行き、木材の流通の中で木に関わっている人々の仕事を見学するとともに、体験や学習を通して近くの山の木を使うことが地球環境にどのような影響を及ぼすのかを学んでもらう事業を行いました。

### ・第1回 平成22年11月4日(休) 4時限目

#### ～導入学習～

今回の学習についての内容及び大原小学校で木が使われているのはなぜかを問いかけました。この学習では、自分たちの学校である大原小学校を計画・設計された千葉薫氏にご協力頂き、木の学校が出来るまでの色々なお話を児童たちにして頂きました。やはり、第1回目は我々がどんな活動をするメンバーであり団体であるのかが児童たちにはわからない様でした。



### ・第2回 平成22年11月8日(月) 2、3、4時限目

#### ～製材所見学及びDVD鑑賞

#### 「びわ湖の森が泣いている」～

長浜市で製材所を営まれている鳥居木材さんに協力を頂き、製材所の見学を行い、製材所の役割や製材所にどんな木があるのかを鳥居社長から教えてもらいました。この日はあいにくの雨で製材所での見学も大変でしたが子供たちは熱心にメモを取ったり、たくさんの質問などをしてくれました。また学校では滋賀県が製作した環境学習DVDを見てもらいました。DVDでは、森林は、昔からたくさんの生き物の命を育み、人びとの生活をささえてきた事や、林は空気や雨水をきれいにしてくれる力もあり、森林がたくわえた水が琵琶湖を豊か



育んでいることや、森林が人々の生活に大きく関わっている事などを学んでもらいました。



### ・第3回 平成22年11月16日(火) 1、2、3、4時限目

#### ～森できこり体験～

前回の授業で、製材所にあった木や大原小学校で使われている木が学校近くの木であった事を学んでもらい、今回の授業では実際に学校近くの森に行き、滋賀北部森林組合さんとやまのこ指導員さんに、木の違いや間伐はなぜするのかを説明して頂きました。また現地では実際に木登りや丸太切り、間伐材切りを体験してもらいました。3回目の学習でしたので、我々青年部メンバーにもようやく慣れて来た様で、子供たちの方から話しをしてくれ、お互いに親密感がわくようになりました。



### ・第4回 平成22年11月22日(月) 1、2時限目

#### ～森林組合見学～

滋賀北部森林組合さんに行き、山で切った木が森林組合までどのように運ばれ、どのように製材加工され、今後どこに行くのかを話してもらいました。子供たちが実際に間伐した木を用いて、木材についてわかりやすく説明してもらいました。実際に自分たちが切ってきた木であったため、興味深く話も聞き、最後は加工された木を持って帰る子供もいたくらいでした。



### ・第5回 平成22年11月29日(月) 4、5、6時限目

#### ～木のパズル・大工体験・まとめ学習～

間伐材利用の一つとして作られた木のパズルを使い、パズル作りをしてもらったり、木材の主要な役割である家造りの学習として大工体験や大工仕事の説明を行いました。この学習では、木を活かし、無駄なく使っている事を説明した後、実際に鉋<sup>カンナ</sup>を用いた大工さんの体験をしてもらいました。まとめ学習では今まで学んだ事やこの授業に携わった人と大原小学校の関係を種明かし、また近くの山の木で学校や家を建てるとその廻りで

どのような影響があるのかを知ってもらい、山を守り、地球環境を守る大切さを学習してもらいました。



本年度は5回の学習を行い、青年部以外にも多くの人に携わってもらいました。今回の学習では我々青年部メンバーも勉強になる事ばかりで、我々にとっても今後の仕事に活かせる内容と成りました。今回の事業の成功には、やはり大原小学校の5年生が各学習で熱心に話を聞き、メモを取ったり、質問をしてくれて、一所懸命にこの学習に取り組んでくれた事が今回の授業成功の一番の要因だったと思います。

これからも初心に戻るこのような事業を今後も青年部の大切な事業の1つとして取り組んでいきたいと思えます。最後にこの事業に参画してもらいました、千葉、松宮両先輩、鳥居木材(株)様、滋賀北部森林組合様、やまのこ指導員様、ご協力して頂き、本当にありがとうございました。



大原小学校から事業終了後に送られてきた手紙

## 平成23年1月から、 新しい景観まちづくり計画を施行しました

### ●景観形成のルール統一

長浜市は、平成20年1月に景観行政団体となり、同年3月に「長浜市景観まちづくり計画」と「長浜市景観条例」を施行し、長浜にふさわしい良好な景観づくりに努めています。

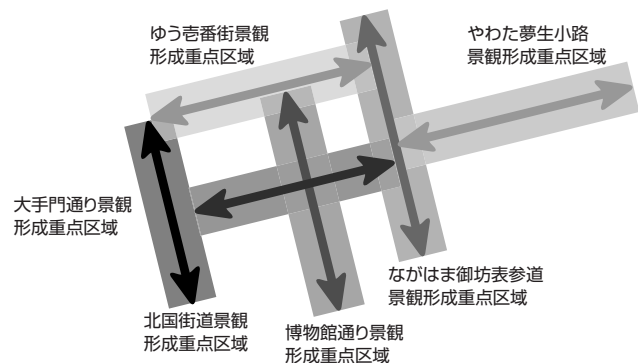
平成22年1月に1市6町合併してからは、経過措置として、旧長浜市域と旧6町区域にはそれぞれ異なる景観形成基準（建築物の高さや色彩等）を適用していましたが、景観審議会やパブリックコメントなどを経て、この景観形成基準を統一しました。

平成23年1月1日から、長浜市全域を対象区域として、新しい景観形成基準を適用しています。

### ○景観形成重点区域の指定

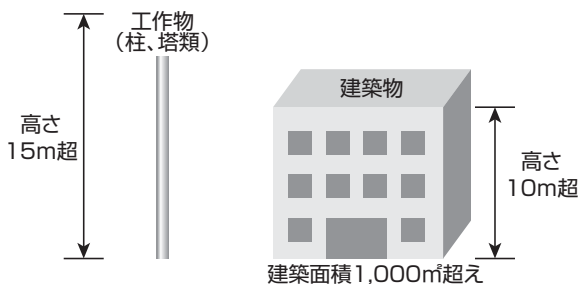
市民の誇りとなる優れた景観が見られる地域や、風格のある良好な景観を創造する地域などは、景観形成重点区域に指定し、よりきめ細かな基準を定めています。このたび、中心市街地に位置する長浜八幡宮の参道「やわた夢生小路」を新たに重点区域に指定しました。

- ・琵琶湖沿岸
- ・国道365号沿道（木之本・余呉地区除く）
- ・姉川沿い
- ・ながはま御坊表参道
- ・博物館通り
- ・北国街道（長浜地区）
- ・ゆう壱番街
- ・大手門通り
- ・（新）やわた夢生小路



### ○事前の届出が必要(対象は市内全域)

自然景観やまちなみなどの周囲の環境との調和を図るため、一定規模を超える建築物や工作物を新築、増改築等する場合には、景観形成のルールに適合しているか確認するため、あらかじめ市に届出をしてください。

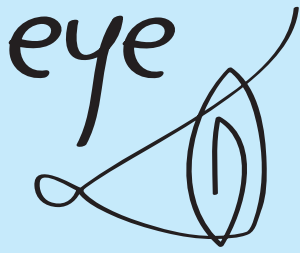


※景観形成重点区域では、より小規模な行為から届出が必要です。

※このほか、建築物等の改修や外壁の塗替え、開発行為、木竹の伐採等について、届出が必要な場合があります。

詳しくは、長浜市ホームページをご覧ください。

【問】長浜市都市計画課 電話:0749-65-6562



—アイ・湖国びとの愛情視線—

## 第2回 林業家 栗本 慶一さん

### 森から街へ世代をつなぐ家づくり



くりもと けいいち  
栗本 慶一さん

1948年、旧朽木村生まれ。  
長浜農業高校で農林業を学んだ後、  
栗本林業の5代目として家業を継ぐ。

祖父が植えた木を孫が伐る。林業はまさに世代をつないで成り立つ仕事と言えるだろう。栗本さんは県内でも有数の林業家。必要な木だけを選んで伐り出す“択伐”という昔ながらの方法で管理するその山では様々な樹齢の木が育ち、バランスの良い森を作っている。「長い時間をかけて育てた木が家の部材として使われるとき、新たな時間が始まるのです」と栗本さんは話す。

2003年、栗本さんが育てた木を使いたいという施主の希望で林業家、製材所、建築士、工務店、大工が一緒になって家づくりに取り組んだ。原木が形を変えながら家になるまでのすべてにかかわるのは初めての経験だったという。「山に来た建築士さんが、根の曲がった杉を見て『使いたい』と言われたことに驚きました。従来なら市場に出回らないものをどうやって使うのか。これは面白いと思いました」。



お神酒、塩、洗米と感謝の祈りを捧げてから大黒柱を伐採する栗本さん

施主と各業者が集まって話し合いを重ね、何度も現場に足を運び、完成までに3年を費やした「根曲がり杉の家」は想像以上の出来栄であった。根曲がり杉は梁から下駄箱の扉の装飾まで余すところなく使われ、存在感を放った。根張りを残した丸太の大黒柱や一枚板のカウンターなど、随所に木の特徴が生かされた。「建築士さんやそれぞれの職人さんの知恵と技が発揮されて、素晴らしい形で輝かせてもらえたと感動しました。その喜びを施主さんと分かち合えたのもうれしく、林業の集大成のように感じました」。

この経験は、山仕事に対する心境の変化をもたらした。伐採した木を規定の寸法に伐りそろえる“玉伐り”では、家のどの部分に使われると良いかをイメージするようになった。真っすぐな木なら通し柱に、曲がり材は梁に使うと強度が増す。家づくりを知ったからこそ、木本来の価値を最大限に生かしたいという思いが強くなった。「対話しながら木を育てる先に、その木を使う家族の顔を思い浮かべるようになりました」。世代をまたいで育てた木が、街で新たな世代を紡ぐ家になることに改めて気付かされたのだ。

家づくりに取り組んだ仲間とは、地域の材料を使った家づくりを普及、啓発する「安曇川流域・森と家づくりの会」を結成した。大黒柱の伐採に施主家族が立ち会ったり、山仕事の見学会を開いたり、森と街をつなぐ忙しい日々を送っている。今、最も力を注いでいるのは山の仕事を後世に伝えるための基盤づくり。先代から受け継いできた心も伝えたい。「人生で今が一番充実しています。やりたいことが一杯で、時間がいくらあっても足りない」と笑顔がこぼれた。

(取材 M・Y)



滋賀県建築士会 第9回こだわり住宅賞で  
びわこ放送賞を受賞した「根曲がり杉の家」



## 湖南支部

### 「野路の玉川」

中世において、東海道と東山道の分岐点で戦略上でも重要な地にあり、宿駅として重要な位置を占めた。室町時代には草津が交通の要衝となり、しだいに江戸時代にその地位を草津宿に譲った。

諸国六玉川の一つ「野路の玉川」は近江の萩の名所であったことから「萩の玉川」とも呼ばれ、平安・鎌倉時代の紀行文・和歌にしばしば登場した。弁天池と十禅寺川の間に水の湧き出る名泉：玉川（小池）があったが、現在はあたり一面に咲き匂う萩のみが面影を残している。

「玉川」の名称については、聖徳太子が仏法興隆のため御幸された時に、馬に水を吞ませるために笏で萩原を穿つと、たちまち清水湧きいでて、玉の姿をなせしゆえとか。

また、王城の地から一日行程の近距離にあるため、古今の有名無名文人墨客が来遊、詩歌に興じていた。古い歴史にはぐくまれた古跡なるため、多くの絵図・紀行・詩歌・伝説にめぐまれ、江戸時代にまた多くの浮世絵師たちは作画を競った。「近江むかし話」（滋賀県社会福祉協議会・老人クラブ連合会共編）にも玉川の水があまりにもきれいであったことが言い伝えられている程である。

滋賀県百科事典（大和書房）より



## 甲賀支部

### 大池寺・大池寺蓬萊庭園

甲賀市水口町名坂

寺伝では、奈良時代末期にこの地を訪れた行基が現在も寺の周囲に残る4つの大きなため池「心字の池」を造りそのほぼ中央に本道而建てたのが寺のはじまりとされている。大池寺の寺名もこのことに由来している。

長い刈り込み垣に挟まれた参道を行くと、山門と白壁の塀が目を引きます。境内には床が瓦敷きの本堂をはじめ、書院・茶室・庫裏などが立っている。本堂には、行基の作と伝えられる釈迦牟尼如来巫像が安置されている。

書院の正面にあるサツキの二段大刈り込みは、海の大波小波を表し、敷き詰められた真っ白い砂の上に宝船を浮かべた姿を表現している。その中に様々な刈り込みを用いて七福神をあらわしている様子は、実に見事で四季それぞれにすぐれた趣を見せてくれる。



## 2月の暦

1	火	仏滅		10	木	友引		21	月	先勝	
2	水	大安	機関誌「家」特別委員会	11	金	先負	建国記念の日	22	火	友引	
3	木	先勝		12	土	仏滅		23	水	先負	・四役会 ・評議員会
4	金	友引		13	日	大安		24	木	仏滅	
5	土	先負	・二級・木造建築士免許交付式 ・近畿あーきてくと	14	月	赤口		25	金	大安	
6	日	仏滅		15	火	先勝		26	土	赤口	Doシリーズ No57「ライト建築の見学とW発電の研修」
7	月	大安		16	水	友引		27	日	先勝	
8	火	赤口		17	木	先負		28	月	友引	
9	水	先勝	・理事会 ・四役会	18	金	仏滅	青年部35周年研修旅行				
				19	土	大安					
				20	日	赤口	↓				

# あきんど号ラリー参戦記

第2回

## ラリーレイドの基礎知識



多くの方の声援をいただいた初代あきんど号 1991年シドニー

今回はオーストラリアンサファリについての予定であったが、もう少しラリーレイドを理解していただく為に、基本的なことを紹介する。

ラリーと言えばWRC（世界ラリー選手権）を連想されるかも知れないが、我々のラリーレイドはランドクルーザーやパジェロのようなクロカン四駆と言われる車両が主となる競技である。希にレガシーやRAV4の様な車も参加するが、最終ゴールまではなかなか辿り着けないのが現状である。市販車無改造クラスでは頑丈と言われるランドクルーザーでさえレギュレーションをクリアできる改造を行っているのが通常である。市販車のままで参加すれば、

二日目のゴールは諦めた方が良いだろう。レースはルートマップと呼ばれる地図を基に、一台ずつ2分間隔でスタートする。まず、リエゾン（RS）と呼ばれる移動区間をターゲットタイム（目標時間）で走行する。遅い到着は勿論だが、速すぎてもロスタイムというペナルティをもらってしまう。各自のターゲットタイムから1分の間にゴールしなければならない。そして、そのゴール5分後、自動的にSS（スペシャルステージ：とにかく速く走る区間）のスタートとなる。あとは、ルートマップを読みミスコースなくいかに早くゴール出来るかの競技である。1Leg（レグ：ラリーにおける1日の単位、ステージとも言う）に、SSが2本以上の時もある。ロスタイムとSSの合計タイムで順位が決まる。毎晩ゴール後は食事、マシンのメンテナンスや翌日のルートマップの予習を行わなければならない。しかし、何かトラブルを抱えると、修理のためどんどん睡眠時間が無くなり、最悪は徹夜となってしまう。我々も過去に何度も経験したことである。日々のゴールが、パリダカやオーストラリアンサファリではキャンプ地だが、アジアンラリーはホテルである。夜中にゴールしてもシャワーが可能だ。ラリーのスタートからゴールまではオフィシャルタイム（公式時計）に基づき厳格に時間管理されるのである。



ルートマップ

## 滋賀の街道(西近江路)

マザーレイク・ストーリー～伝説の琵琶湖湖族たち～というFM滋賀のラジオドラマが日本放送文化大賞を受賞したとき、はじめて「湖族」という言葉を知りました。堅田ではこうした歴史資産を活かしたまちづくりが活発になっているそうです。浮御堂の手前にある「湖族の郷資料館」は堅田衆をはじめ堅田ゆかりの先人の足跡をたどることができます。

## 大津市堅田「湖族の郷」

